

# 乳肉複合経営農場の先進地視察を実施

下関農林事務所畜産部

平成 21 年 7 月 8 日

7月1日、山口県家畜人工授精師会西部支部は、島根県益田市の(株)メイプル牧場を視察しました。そこでは乳用牛450頭、肉用繁殖牛40頭が飼養されています。

管理者から牧場の概要説明があり、その後場内を視察しました。参加者は、最大50頭を同時に搾乳できる施設など、規模の大きさに最初は圧倒されていた様子でしたが、乳用牛の飼料の半分に豆腐かすを原料としたリサイクル飼料を利用したり、職員の手作りによる子牛の管理小屋など、低コストを目指した様々な工夫に、大いに感銘を受け、熱心に質問したり、メモを取ったりする姿が見られました。

今回の研修は、西部支部管内だけでなく、長門大津支部、阿武萩支部からも参加があり、総勢15名の参加者のあいだで、地域を越えた家畜人工授精師間の交流や情報交換も活発に行われ、有意義なものとなりました。



場内視察（乳用牛）



場内視察（肉用牛）